

## ② 曲頭・曲間の調整

# 曲頭・曲間調整の重要性

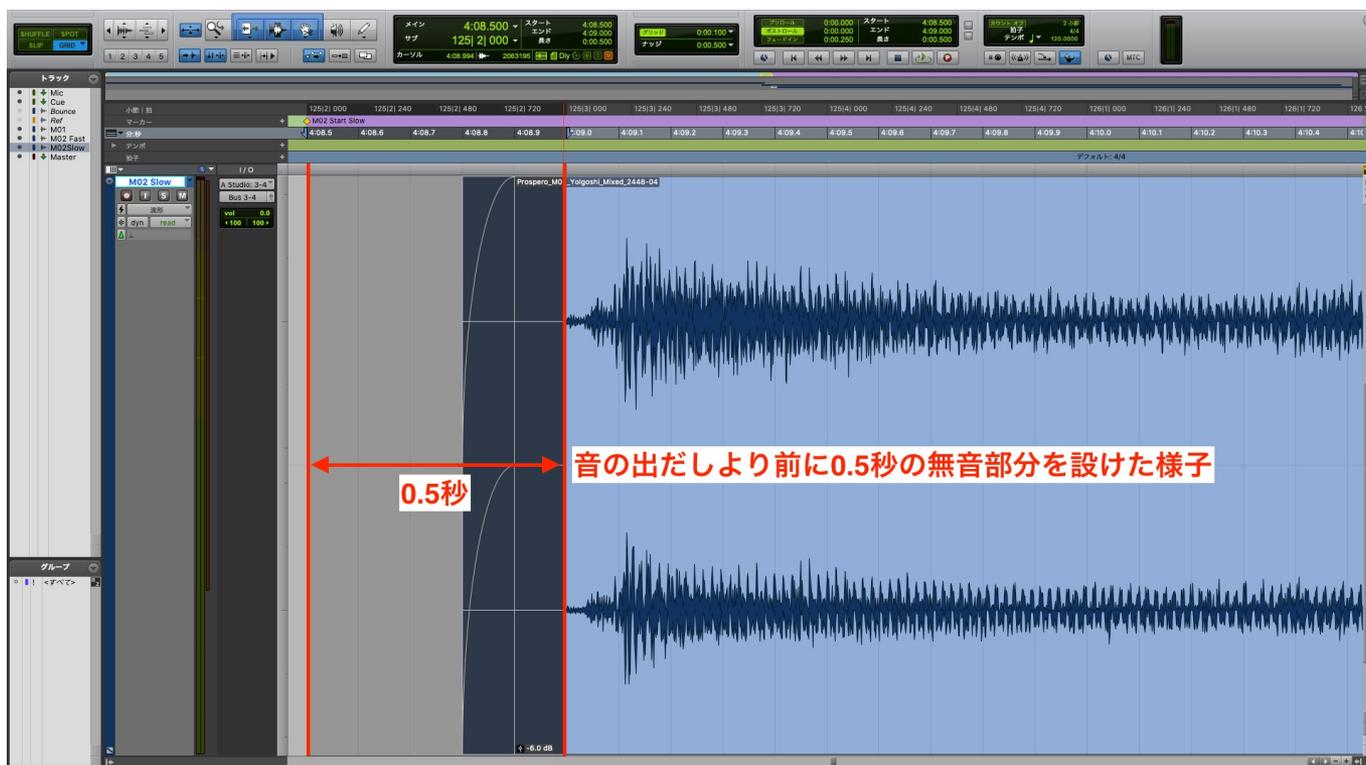
マスタリングにおいて、曲頭・曲間の調整は非常に重要な作業。

とくに、アルバムなど複数曲をまとめて収録する際、楽曲同士のインターバル(スキマ時間)はアルバム全体の聴き映え、印象に大きな影響を与えるため注意が必要。

どの程度のインターバルを設けるかは完全にケースバイケースだが、前の曲の余韻やその後の無音時間を調整して、次の曲が最も心地よくスタートできる位置を探ってみよう。

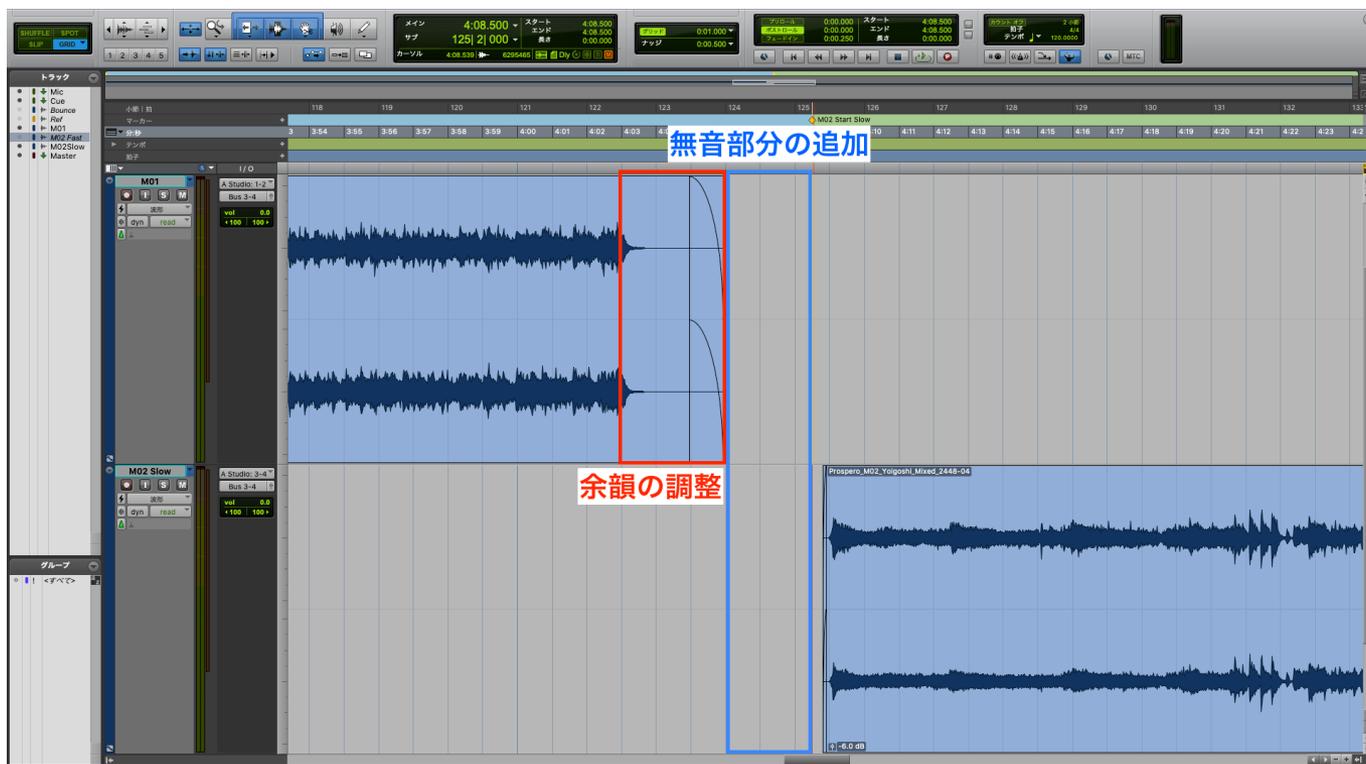
# 曲頭の調整のポイント

曲頭には、音の出だし前に0.2～0.5秒の無音部分をつけておこう。  
これにより、CDプレイヤーでの再生時に音欠けを防ぐことができる。



# 曲間の調整のポイント

曲間は、楽曲の「余韻の長さ」「余韻の減衰カーブ」「余韻消滅後の無音の長さ」に着目して設定。また、無音部分は最低でも0.2秒は確保しよう。



# バウンス時の注意点

バウンスを行う際には、曲頭と曲の終わりに設けた無音部分も含めて書き出すことをお忘れなく。

